

◆◆ 2020年度 児童家庭支援ソーシャルワーク研修 ◆◆ ～ 多職種連携による包括的支援をめざして～

2016年の児童福祉法改正では、児童虐待の発生予防や、発生時の迅速かつ的確な対応を行うため、妊娠期から子育て期にわたる総合相談や支援を行う「子育て世代包括支援センター（母子健康包括支援センター）」の法定化や、市区町村における支援体制を充実させるための支援拠点の整備が行われるなど、市区町村の体制強化がなされました。地域を基盤として子どもとその家庭を支えるためには、社会資源が十分に整備され、市町村が子ども家庭支援の機関連携の要として十分に機能すること、また家庭への適切なアセスメント機能と支援機関連携のマネジメント機能を遂行できる人材が必要です。

本研修では、子どもとその家族を支援するために必要な地域支援の仕組みや各課題、特に児童虐待の要因となり得る貧困問題やDV、子どもの発達課題や親の精神疾患の問題等を学び、地域における子ども家庭支援を実践できるよう社会福祉士としての価値や倫理を踏まえた知識と技術を身につけることを目的に開催します。

1. 日 程：2021年2月6日（土）～7日（日）
2. 実施方法：Zoom ミーティングによるオンライン研修
3. プログラム（予定）※今後の調整により、時間等に変更が生じる場合があります。

	時 間	内 容
1 日 目	10:00～10:15	開会挨拶・オリエンテーション
	10:15～12:00 (105分)	講義「子どもと家庭の生活に関する諸問題」 講 師：柏女 霊峰 氏（淑徳大学教授）
	12:00～13:00	休憩
	13:00～14:45 (105分)	講義「妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援～母子健康包括支援センター（子育て世代包括支援センター）の役割と機能～」 講 師：佐藤 拓代 氏（(公社)母子保健推進会議会長）
	14:45～14:55	休憩
	14:55～16:40 (105分)	講義「子どもの家庭の生活に関する法令と制度の理解と活用」 講 師：大竹 智 氏（立正大学教授）
	16:40～16:50	休憩
	16:50～18:35 (105分)	講義「要保護児童・要支援児童の切れ目のない支援～要保護児童対策地域協議会の役割と機能～」 講 師：加藤 曜子 氏（流通科学大学教授）
2 日 目	9:20～11:05 (105分)	講義「子どもの所属機関の役割と連携」 講 師：内田 宏明 氏（日本社会事業大学准教授）
	11:05～11:15	休憩
	11:15～12:45 (90分)	講義「子ども家庭相談とファミリーソーシャルワーク」 講 師：酒井 珠江 氏（広島県教育委員会） 坂口 繁治 氏（坂口社会福祉士事務所）
	12:45～13:35	休憩(50分)
	13:35～16:05 (150分)	事例研究「子ども家庭包括支援のためのネットワーク構築とチームアプローチ」 講 師：酒井 珠江 氏（広島県教育委員会） 坂口 繁治 氏（坂口社会福祉士事務所）
	16:05～16:10	事後課題の説明
	16:10	閉会

4. 受講対象：以下の①～③を全て満たす者
 - ①社会福祉士
 - ②地域における子ども家庭支援の実践者、またはこれから子ども家庭支援に携わろうとする者
 - ③下記の「オンライン研修の受講にあたって」を確認の上、Zoom ミーティングによるオンライン研修を受講できる者
5. 定 員：140名（原則として先着順。ただし、定員を超える申し込みがあった場合には、都道府県社会福祉士会の会員を優先します。）
6. 受講費：会員 10,000円、会員以外 13,000円

7. 修了条件：以下①、②を全て満たすこと
①全てのプログラムを受講すること
②事後課題を提出し、合格すること
※30分以上の遅刻・早退・途中退席は未修了となります。また、遅刻・早退・途中退席が3回以上ある場合も未修了となります。
8. 単 位：本研修は認定社会福祉士認証・認定機構に認証された研修です。
■取得できる単位：1単位 ■研修認証番号：20190010
■認証科目：分野専門／児童・家庭分野／ソーシャルワーク機能別科目群
／児童家庭支援と要保護児童対策地域協議会
※日本社会福祉士会生涯研修制度では、専門課程の1単位となります。
なお、本研修には事後課題が設定されています。
「9. 修了条件」を満たすことで、各単位を取得することができます。
9. 申込方法：以下の QR コードまたは URL から本研修の申込フォームにアクセスし、必要事項をご記入の上、お申し込みください。
10. 申込期限：2021年1月11日（月）まで。ただし、定員数を大きく上回るお申し込みが合った場合には、申込期間内でも受付を終了とさせていただきます。
11. 受講可否：受講の可否は、1月18日（月）までに、ご登録いただいたメールアドレス宛てにご連絡します。併せて、受講費の納入方法、キャンセルの扱い等についてもご案内します。1月19日（火）を過ぎても主催者からの連絡がないときは、下記の担当にお問い合わせください。
※受講申込が少ない場合は、開催しないことがあります。
12. 留意事項：
・本研修を受講するにあたり、原則として一人1台のPCを使用し、ご受講ください。
・本研修を受講するにあたり、PCの他、カメラ及びマイクの各機能が必須となります。また、講義及び演習中は、カメラ機能は常時オンにしてください。
・本研修の2日目には、少人数のグループにわかれた演習（討議やワーク）が予定されています。使用する機器及び機能の他、受講に適切な環境も含め、ご準備ください。
・本研修の受講決定者には、受講にあたり注意事項等をご案内します。注意事項に抵触する行為や、不適切な環境下での受講等と、主催者側が判断したときは、途中退室いただく場合もありますので、あらかじめご承知置きください。
・自然災害の発生等により、本研修を中止することがあります。本研修が中止となった場合は、受講費の返金を行います。
・受講者側による通信環境・通信機器等の原因により、当日受講できない場合の返金は、対応いたしかねますので、予めご承知置きください。
・申し込みされた個人情報は、本研究集会の運営以外の目的には使用しません。
13. 主 催：公益社団法人日本社会福祉士会
13. 問合せ先：(公社)日本社会福祉士会 生涯研修センター（営業時間：月～金曜日 10：15～16：15）
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-13 カタオカビル2F
TEL:03-3355-6541 e-mail: kenshu-center@jacsw.or.jp

オンライン研修の受講にあたって

オンライン研修を受講いただくにあたり、事前に準備いただきたい事項、使用機器等についてご案内いたします。

◆ 本研修（Zoom ミーティング）を受講するにあたり準備いただきたい事項

- 受講に必要な機器（一人1台のパソコンと、マイク及びカメラ（内蔵可））をご準備ください。受講いただくにあたっての必要な機器及び詳細を、以下に記載しておりますので、ご確認の上、お申し込みください。
- 本研修では、ビデオ講演会システム Zoom ミーティングを使用いたしますので、事前に Zoom アプリをダウンロードしてください。なお、本研修を受講いただくだけならば Zoom アカウントの取得（サインアップ）は不要です。

◆使用機器の確認（詳細）

本研修では、Zoom ミーティングにおいてマイク音声、自身の画像を表示して受講することが条件となりますので、研修までに、次の受講に必要な機器をご準備ください。なお、音声はパソコン等に内蔵されている機器で受講いただけますが、イヤホンの使用を推奨いたします。

長時間にわたり、映像を視聴いただくため、安定した自宅等でのインターネット回線（Wi-Fi 等）での受講を推奨いたします。携帯電話会社の回線（パケット通信）でも受講は可能ですが、データ量が大きいいため、通信料金やお使いの端末の契約内容にご注意ください。

<受講に必要な機器> ※以下のいずれかを満たしていることが必要です。

- 内蔵または外付けカメラ+WindowsPC（Windows8.1または10）
- 内蔵または外付けカメラ+Mac（OS10.13以降）

◆事前テストについて

Zoom アプリをダウンロードしたら、事前に接続テストを行うことをお勧めします。システム要件などもご確認ください。

Zoom テスト用 URL : <https://zoom.us/test>

◆その他

受講者の通信環境、通信機器の原因により、当日参加できない場合には対応できかねますので、予めご了承ください。